

伊方発電所周辺地域のお客さまへの訪問対話活動の実施結果について

今年度の訪問対話活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度同様、伊方発電所の現状などについてご説明するリーフレットを伊方発電所から20km圏内の各世帯にお配りし、専用はがきあるいは電話により皆さまからお寄せいただいたご意見・ご質問に個別に回答を行うなど、丁寧に対応させていただきました。

その他、伊方発電所の状況を詳しくご説明する動画を制作し、活動の期間中を中心に地域のケーブルテレビ局で放送したほか、当社ホームページでも公開しています。

概要は以下のとおりです。

1. 訪問対話活動の実施状況

- ・期 間 2021年10月4日（月）～19日（火）
- ・配布戸数 26,851戸

（内 訳）

地 域		期 間	戸 数
伊方町	全域	10/4～10/14	4,284戸
八幡浜市	全域	10/7～10/19	15,347戸
大洲市	旧大洲市・旧長浜町の一部		2,554戸
西予市	旧三瓶町全域、旧宇和町・旧明浜町の一部		4,666戸
戸 数 の 合 計			26,851戸

2. 訪問対話活動の実施結果

地域の皆さまからお寄せいただいたご意見・ご質問の件数 89件

<ご意見の一例>

（連続トラブル・過去の保安規定違反関連）

- ・信頼を失うようなつまらないトラブルを起こさないように。
- ・本人も会社も気のゆるみがあるのではないかと。3年も前のことがなぜ今わかったのか。
- ・緊急事態に備えて宿直している社員が無断で外出するなどあってはならないことだ。
- ・最近、職員の無責任な行動が心配であり、指導を厳しく安全確認に努めて欲しい。
- ・コンプライアンス教育を一層充実すれば、他は安全と信じている。
- ・信頼は日々の積み上げでしか回復できないと思うので社員の頑張りに期待している。

（使用済燃料乾式貯蔵施設関連）

- ・使用済燃料を一時的に貯蔵する施設だといっているが、必ずそうならなくなるはず。
- ・「空気の自然な流れで冷やす」というのは良い考えだと思う。

（その他）

- ・原子力は不安なので、早く自然エネルギーに転換してほしい。
- ・四国の電力事情等を考えると、四国に一つは原子力発電所が必要と思う。
- ・リーフレットからは、組織の安全性の追求と意識向上に努めていることが窺える。また、多くの社員は責任意識が高く、仕事に精励されていると思う。

3. 動画の放送状況等

- 2020年1月に伊方発電所で連続して発生したトラブルおよび過去の保安規定違反の再発防止に向けた取り組み状況をご説明する動画
「『より良い』伊方発電所を目指して」
を地域のケーブルテレビ3局において放映中（10月上旬～12月下旬）、および当社ホームページで公開中（9月中旬～）

- 使用済燃料乾式貯蔵施設の概要とその必要性・安全性についてご説明する動画
「乾式貯蔵施設ってどんなもの？ 伊方発電所での計画について」
を当社ホームページで公開中（昨年10月～）

以 上